

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 事業名 | 住民と子供たちによる災害に負けない地域防災活動事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 防災に取り組むみんなの知恵袋の会 090-2633-4704 |
| 事業区分 | 地域協働の推進事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 593,140 円 (うち支援金 : 458,000 円) |

事業内容

- ・ 住民の関係づくり
自然体験アクティビティの活用により協力・協調性・チームワークの必要性を体験し理解する。
車イスの使用方法等習得。
- ・ 小学生対象の講習会
焚き火の方法と安全について学習し、ロープワーク・仮設テント設営・その他の道具等の取扱い方法の習得。
- ・ ロケットストーブ制作
災害時に役立つペール缶によるロケットストーブの制作と使用方法の習得。
ぬかど釜の使用方法と効用について。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①自然体験アクティビティを活用したことにより、地域内に住まいする子供たちや住民の方々が子供たちの情報を入手し、高齢者等の情報等を住民の方々が得ることができ、今後の防災関係に活かしていける情報収集になった。
- ②焚き火の方法と安全について小学生を対象とした体験講習会で、火の危険性や火傷などについて理解をさせ子供だけの焚き火はしない等。ロープワーク・仮設テント設営など災害時に役立つことが自分たちに行えることの自信と自覚を確認できた。
- ③ロケットストーブ制作することにより、災害発生時に対応できる暖房器具等に有効利用をすることが可能なペール缶の利用方法を習得できた。

今後の取り組みについて

今年度の予定していた事業を来年度に計画し、住民の方々に防災関係に有効な取り組みであることを広めていく。小学校においては、学校側にサポーター登録して学校内で自然体験アクティビティなどを体験させながら災害発生時に役立つ体験学習を企画する。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【体験講習】

【目標・ねらい】

- ①住民の関係づくり
- ②小学生対象の講習会
- ③ロケットストーブ制作
- ④

※自己評価【B】

【理由】

コロナ感染が増加する中で、体験講習会開催する予定にしていたが感染拡大等により4回目の体験講習会を予定していたが開催できなかった。